

人工林小径木の利用について

中津川営林署 堀 尾 武

間伐材のうち特に小径木を利用した一般家庭用品の、試作の一部について発表をいたします。

最近間伐施業の必要性と、間伐材の利用開発について論議がなされています。林野庁においても、新あぜ倉式住宅につづいて、セブン、バイ、セブン工法の開発など、間伐材利用について努力がなされているところです。

中津川署においても、生産量全体に占める人工林の割合は年々増え、さらに52年度よりは、間伐量の確保が義務付けられています。

貯木場作業に従事する者として考えるとき、従来でも人工林小径木の販売が不調でありさらに、これに間伐材が加へられるならば、販売見通しは、決して明るくないと思われます。すなわち小径木が全体の足をひっぱる結果となるからであります。

貯木場独自の調査によりましても、小径木はえ（桧）の買受業者は、曲り材や5センチ以下の材は利用方法がなく、野積み放置している実状が多い実態です。

この小径木の有効な利用用途はないものかと素人なりにいろいろ考えてみたわけであります。

発想のはじまりは

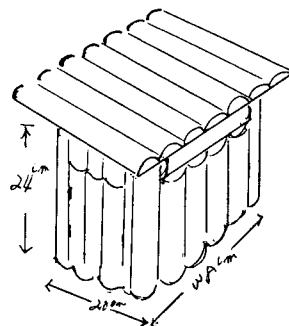
小径木、曲り材、多節材→ 販売不振

原因→ 未利用、低利用材である

利用開発→ 家庭用品の試作

すなわち売れないなら、売るべく用途開発を考へてみようというのが、そもそもの始まりであります。

◇試作第1号が郵便受で大きさは図のとおりです。



試作第1号

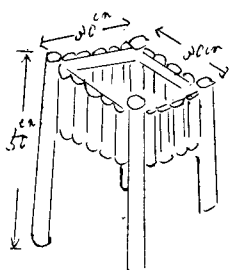
◇これに要した材料は

- 人工林小径木 ◦ベニヤ板
- チョウツガイ ◦接着剤、釘少々

◇製作法方として、小丸太を丸鋸で二ツ割りにしたものを主材料に、普通ベニヤに接着、釘止め、背、底部は強度保持のためパネコンを使用、仕上げとしてトーチランプでやや不均等に焼きました。

◇試作2号は、玄関先などにおく植木鉢用の置台です。

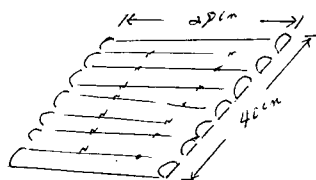
これも二ツ割材が主材料で、底部にパネコンが使用してあります。



試作2号

◇試作3号が、床の間や、玄関の下駄箱の上におく花台であります。

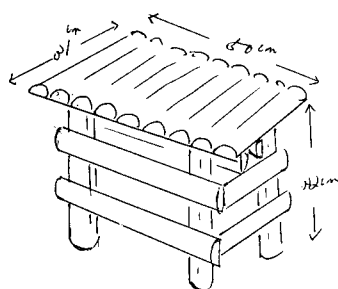
7本の二ツ割材を2本の鎖でつなぎました。



試作3号

◇試作4号が踏台であります。

四本の足の丸太使いを除き、二ツ割材が主材料です。庭から座敷へあがる踏石がわりか、屋外パーティー用の腰掛けとしても、利用できるのではないかと考えます。



試作4号

以上が試作したのですが、これに使用した材料はつぎのとおりです。

試作品材料明細表 () は金額

用途	材料	小 径 木	ベ ニ ャ	そ の 他	計
郵便受		3 m × 6 cm × 2 本 (253円)	薄 0.15㎡ 厚 0.18″ (172円)	チヨウツガイ 釘 接着剤 (140円)	(565円)
鉢置台		1.2m × 5 cm × 1 本 2 m × 6 cm × 1 本 (147円)	厚 0.10 (83円)		(230円)
花台		3 m × 6 cm × 1 本 (120円)		鎖50cm (300円)	(420円)
踏台		4.3m × 7 cm × 1 本 (376円)			(376円)

(労賃については、試作で手さぐりで作ったこともあり省略)

さらに小径木を大量に利用できる用途として考えられるものとして

1. ぬれ縁の縁板の替りに縦使いに利用できないだろうか。
2. 袖垣の竹や板替りに利用できないだろうか。
3. 破目板替りに住宅や、喫茶店等に斜目使いに利用できないか。

等が考えられます。

試作品の出来具合も含めて、どんな材料がよいのかをまとめてみると、次のことがいえます。

〈有効な材料〉

1. 小径木ほど美しい作品ができる。
2. 曲り材も、製品上短かく切断するので全くロスなく利用できる。
3. 節の多い材も全く問題はない。
4. 虫喰材も、かえて味のある作品ができる。

等の結果がでており、従来の「悪い材」が試作品では「良い材料」となっています。

つぎに製作及採算上の分析ですが、つぎのことが予想できます。

〈製作及採算上の分析〉

1. 家内工業的分野に適している。
2. 材料が安価に、かつ豊富である。
3. 特殊な技術がいらない。
4. 規格が一定なれば、低コストが期待できる。

5. 製作のため特殊な機械がいない。

などのことがいえると思います。以上の発表はあくまで、用途開発についてのせまいアイデアの域を
でていないと考えます。

技術的にも、又アイデアとしても不十分だと思いますが、第一線林業従事者として、貴重な資源の利
用開発を、みんなで考え合えるキッカケにでもなれば、幸いです。